

いつまでも健やかに暮らせる社会へ

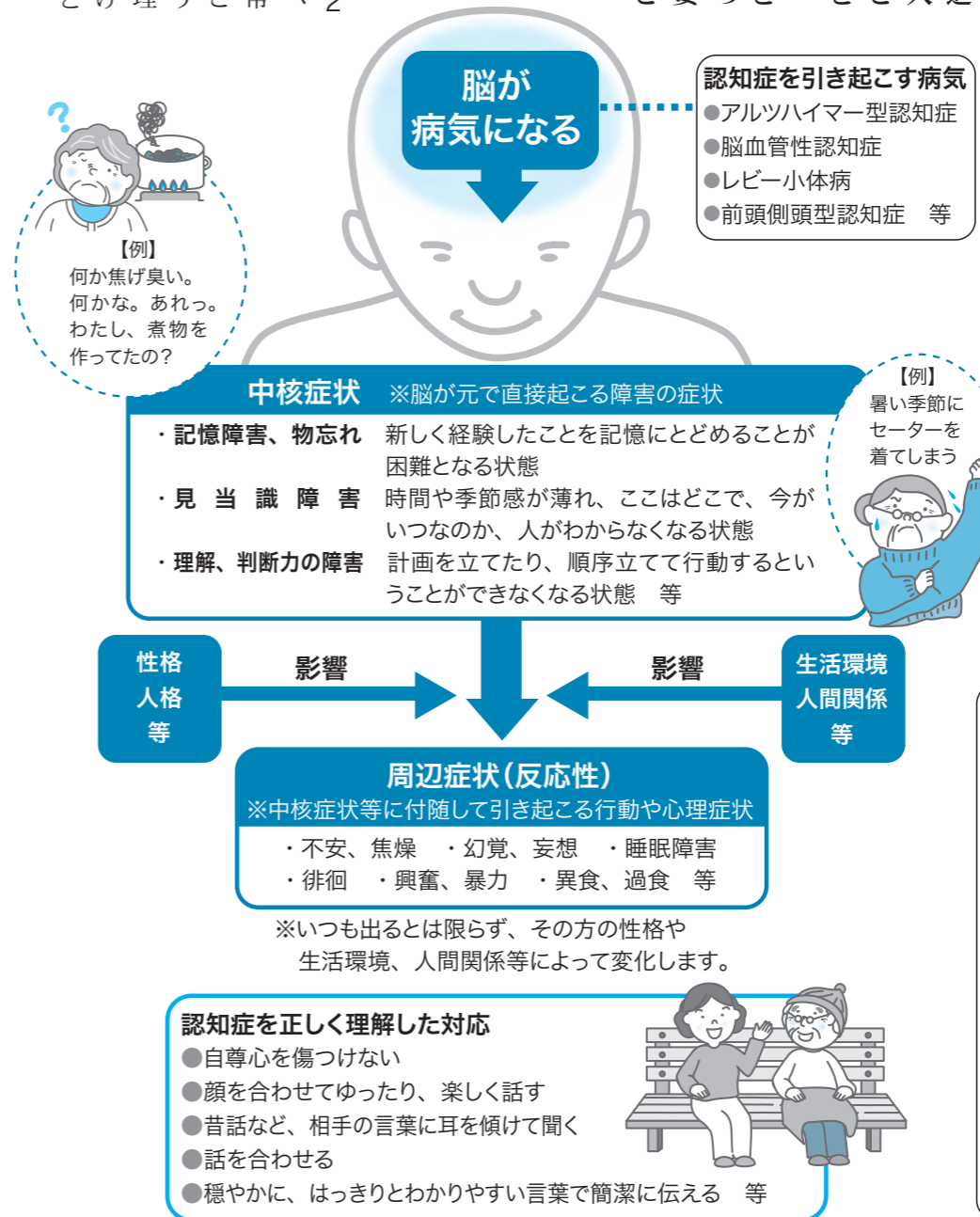
和歌山県の高齢化は全国に先行して進んでおり、10年後にはおよそ3人に1人が高齢者になることが予測されていることから、高齢社会に対する取組が重要となります。

県では、介護が必要な状態になることを予防するとともに、介護が必要になっても、地域で支え合う体制づくりや必要なサービスの充実・質の向上を進めることで、安全・安心な社会をめざします。

認知症を正しく理解しましょう

問 県庁介護予防推進室
073-441-2522

認知症とは、記憶や判断力などが衰え、今までできていた事ができなくなり、日常生活が送れなくなった状態を言います。これは、誰しもがなり得る脳の病気だという認識が必要です。また、正しい知識と理解、普段からご家族やご近所同士のさりげない見守りや挨拶などの声かけを行うことも大切です。



認知症を予防するために

- 糖尿病や高血圧、高脂血症、肥満などの対策や運動をはじめとした生活習慣病の予防を行う。
- 偏食はさけ、規則正しい食生活をする。よくかんで食べ、脳を刺激する。
- ウォーキングやラジオ体操、趣味でのスポーツなど楽しく続けられる運動を行う。
- 音読や計算、ラジオや音楽、絵画などの趣味活動などを通じて日常の中で脳の活性化を図る。

認知症サポーター100万人キャラバン
認知症について、正しい理解と知識を持った「認知症サポーター」を養成しています。各地で「認知症サポーター養成講座」を開催していますので、お問い合わせください。

認知症に関するお問い合わせは
わかやま認知症なんでも電話相談
平日10:00～15:00(土・日・祝日・年末年始12/29～1/3を除く)
☎0120-969-487 ☎073-423-5771
※お住まいの市町村の地域包括支援センターでも受け付けています。

介護が必要になったら…

問 県庁長寿社会課
073-441-2440

介護保険制度は、介護が必要な方に対し必要な介護保険サービスを提供するしくみです。サービス費用の9割が保険から給付され、残り1割が自己負担となります。利用するためには、市町村に申請し、認定調査を受けて「介護や支援が必要である」と認定されることが必要です。

介護保険サービス利用の流れ

市町村窓口で、要介護(要支援)認定の申請をします。

・調査員が自宅等を訪問し、申請者の心身の状況を調査します。



・主治医が病気の状態等をまとめた意見書を作成します。

・介護認定審査会が申請者にどのくらいの介護が必要か判定した後、市町村から認定結果が届きます。

ケアマネジャー等と相談して、希望や状態に応じたケアプランを作成します。

サービス事業者と契約し、介護保険サービスを利用します。

よくあるご質問にお答えします

Q 寝たきりの家族の介護で、申請に行くことが難しいのですか？

A 本人または家族のほか、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、介護保険施設などに代行してもらうこともできます。



Q 認定前に、どうしても介護保険サービスを利用したいのですが？

A 申請から認定結果がでるまでは1カ月程度かかります。認定前でも、緊急の場合は、要介護度を仮に定めた暫定ケアプラン作成の手続きを経て、サービスを利用できますが、その場合、事前に市町村窓口までご相談をお願いします。

Q 医療費と介護費の両方の負担があつて、家計に重い負担となつていないのですか？

A 平成20年4月から、「高額医療・高額介護合算療養費制度」が設けられました。この制度では、世帯内の同一の医療保険の加入者の方について、医療保険と介護保険の自己負担額の合計が、この制度の基準額を超えた場合に、その超過分が、医療保険と介護保険の双方から、自己負担の比率に応じて支給されます。詳しくは、ご加入の医療保険の窓口または市町村の介護保険窓口にお問い合わせください。

質の高い介護サービスを受けていただくために…

問 県庁長寿社会課
073-441-2519

高齢化の進展などにより、福祉・介護サービスを必要とする方々が急増する一方、介護職の不足・離職者の増加が全国的に深刻化しています。今後、ますます介護人材の需要が増えるなかで、質の高い介護サービスを確保するため、県では、介護の人材確保や介護サービスの質の向上のための取組を行っています。

介護分野に就職を希望される方に対する支援

●介護人材新規就業支援事業

●事業主(所)に対する支援

●介護職員処遇改善交付金事業

●現任介護職員等キャリア・アップ支援事業

●認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)

実践リーダー研修に参加されていた介護福祉士(介護主任)中島 香央里さんの声

働き始めた頃は、入所されている方との世代間の考え方の違いを感じました。でも今では、みんなと楽しく過ごせる日々にやりがいと幸せを感じています。この研修を通じ、自分が働く職場とはまた違う、人との接し方や日中の業務の流れの中の良い所を吸収したいと思っています。

